



アニメ映画「はだしのゲン」

原爆で一瞬にして焦土となった広島で、たくましく生きる主人公・ゲン（9歳）の物語。原作は中沢啓治さんの同名漫画。原子爆弾によって家族を亡くしたゲンが様々な困難や苦しみにめげず、焼け野原の中、必死に生き抜いていくさまを描いている作品。今年は戦後編も上映します。

☕ 被爆者と語るピースカフェ

広島県立広島第一高等女学校2年生（13歳）の時に動員されていた飛行機工場で被爆された中村雄子さん（神奈川県原爆被害者の会会長）から、被爆の体験と核兵器をなくすための活動についてお話いただきます。



（イラスト提供：高徳えりこさん）

えほん こどもたちに伝える平和

平和ってなんだろう？保育士さんによる読み聞かせを通して、こどもたちと一緒に考えてみませんか？



♪ うたごえカフェ ♪ ~みんなで平和を歌おう~

シーサイド少年少女合唱団のみなさんと一緒に、平和の歌やなつかしい歌を歌いましょう。



全てのプログラムで小さなお子様とご参加いただくことが可能です。



駐車場に限りがありますので公共の交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

平和教室「歴史は今につながっている」 ~少年はなぜ、特攻で死んだの？~

『ユキは十七歳 特攻で死んだ』（ポプラ文庫：毛利恒之著）の主人公とともに17歳で亡くなった特攻隊員の親族（市内在住）が平和への想いをイラストや写真・動画を交えてお伝えします。



おじいさんが孫に語る戦争の話

『ユキは十七歳 特攻で死んだ』の主人公、ユキの出身地・群馬県桐生市で10年間活動をしているボランティアグループ「宙（そら）のこえ」の会の皆さんに朗読紙芝居を披露していただきます。

戦争を知らない人たちへ引き継ぐ歴史写真展 ~ヒロシマ・ナガサキの原爆被災写真・三浦市の戦跡写真~

戦争や核兵器のもたらす惨状を知ってもらい、核兵器廃絶と平和への願いを受け継いでいくため、写真展を開催します。原爆が投下された広島・長崎ではどのような被害があったのか。そして、東京湾要塞として防衛の地であった三浦市にはどのような戦争の爪あとが残されているのか。戦争を知らない人たちに、事実をとらえた写真から、戦争の悲惨さと平和の大切さを見つめ直してほしいと願います。